

地域 置賜	団体名 おぐにエネルギーの地産地消を考える会
活動地 小国町	
団体紹介 森林資源が豊富なこ小国町において、利活用が可能と考えられる木質バイオマスエネルギーに着目し、地域内でのエネルギーの地産地消に対する意識醸成を図り、更には地域振興へとつなげていくことを目的とする。	
活動内容 ①エネフェスに向けたイベント。 木質燃料機器を室内展示して、さらにエネルギーの地産地消を目指す活動や効果を啓蒙するために、木質バイオマス教室を開催。 ②エネフェス 再生可能エネルギー関連有識者などを講師に迎えたシンポジウム及び一般向けのフェスティバルを開催。サブタイトルを「再生可能エネルギー体感まつり」と題し、木質他再生可能エネルギーを燃料とした暖房機器の体感展示、及び持続可能性を提示する出店出展、木質や自然素材に特化したワークショップ体験等を行うことが出来るフェスティバルです。	
活動を行っての感想 毎年の開催を長年継続してきたおかげで固定の参加者が増え、さらに新しいつながりが新規の参加者を呼ぶ好循環となってきた。 しかし設立時の目的を見つめ直すことで、会員自ら地場エネルギーを作り出して利用する”ちいさな循環”を体感していく方向へと舵を切る決意をした。今後はこれまでのつながりを絶やさずに、小規模ながらエネフェスとして、おまつりをしながらエネルギーを作り出す活動として継続していく	

